

ご意見の内容

■診療所閉鎖に関して

母親が六戸町に一人で住んでいます。

診療所の閉鎖を数日前に知ったと本人が言っていました。ニュースや情報を毎日見ているにも関わらず、今年度末での診療所の閉鎖を数日前に知ったそうです。閉鎖を決定する前に町民への説明は十分でしたか？十分だと思うのであればそう思われる根拠をお示してください。

また、これは佐藤現町長が町長になられてから決定したことでしょうか？

町からの回答

このたびの六戸町国民健康保険診療所の閉鎖にかかる報道発表について、ご回答いたします。

診療所の経営については、これまでたびたび問題提起がなされており、町が抱える重要な問題として前町長の時代から認識されていました。

令和7年3月に六戸町義務教育学校六戸学園の建設工事が完了し、この4月に無事開校したことで、町が解決すべき次なる大きな課題として、診療所経営の問題がクローズアップされることとなり、診療所の経営について見直しを含めた検討が、この2年の間にすすめられました。

ご存じのとおり、全国の自治体が運営する医療施設は、慢性的な赤字体質が続き、当診療所も例外ではありません。

人口1万人のこの町が現在の公共サービスを持続して提供していくためには、

毎年2億円近い、皆さまからお預かりした税金を投入しなければ、経営が維持できないこと。

現在勤務している医師があと数年で定年を迎えるが、代替医師の確保が難しいこと。

医療ニーズの変化により、内科以外の診療科目も充実させるため専門医を集める必要があること。

以上の問題をクリアできなければ、この六戸町の財政を含め、町が今後持続的に維持できないとの判断から、令和9年3月末を目途に診療所の経営を民間へと委ねる。という判断に至ったものです。

繰り返しとはなりますが、この3月をもって医療機関を閉鎖するわけではございません。令和9年3月までに、新たにこの六戸町でこの診療所施設を可能な限り活用し、これまで内科のみという診療科目しかなかったことで、町外へやむなく通院されていた方々へのご負担を軽くするための、医療体制の充実を図る。という目標を皆様に公表したものです。

なお、閉鎖の決定が町民に対して十分であったか。というご質問につきましては、過去に当診療所では医師の退職により、患者さんの受入れ制限や休診など、説明が不十分であったことから、町民の皆さまに多大なご迷惑をおかけした苦い経験もございました。

皆さんに対する説明については、しっかりしたものでないと、その情報が様々な憶測を呼び錯綜することで、混乱を招く恐れがあったことから、公表について慎重な対応とせざるを得ず、先日の報道発表が皆さんに対する最初のお知らせとなりました。

今後、様々な方針が決まり次第、町民や患者さんに対して様々なメディアを通じてお知らせするなど、不安の解消に努め、医療サービスの低下を招かないような体制を構築してまいりますので、ご理解いただければと存じます。

このたびは、貴重なご意見を頂きましてありがとうございました。

※こちらの回答は診療所で作成したものになります。

なお、こちらの問合せ内容と回答につきましては、町ホームページへ公開させていただきます。